

進路だより

第2号（夏休み特大号）

R6.7.22

静岡県立西部特別支援学校
進路指導課

令和6年度が始まり4か月が過ぎ、夏休みもすぐそこになりました。今年は梅雨入りが遅く、また豪雨や酷暑など天候が安定しない日が多かったように思います。

夏休みを迎えるにあたり、保護者の皆様は「生活リズムが崩れるのではないか。」「長い休みで今までできていたことができなくなるのでは。」「面談で進路のことを言われたけど、どこを見学すればいいのか分からない。」「実習を経験して今後何をどのようにしていけばいいのか悩んでしまう。」など、いろいろな思いを抱えていらっしゃると思います。高等部3年生においては、いよいよ行政の方々を交えての進路相談があり、『進路』という言葉が現実味を帯びているのではないのでしょうか。

さて、5月～6月に行われた個別面談で新しくなった【キャリア教育リーフレット】が配布され、担任から簡単に説明があったかと思います。【新キャリア教育リーフレット】は進路指導課が昨年度検討を重ねて作成したものです。そこで今回は本校におけるキャリア教育、【新キャリア教育リーフレット】について触れたいと思います。

キャリア教育とは？

そもそも、**キャリア**とは・・・ 一般的には「職業」「職歴、経歴」という意味です。
では、**キャリア教育**って・・・ 「働くための教育」「職業教育」ということでしょうか。



本校におけるキャリア教育のキャリアは・・・「生活」「生きること」「生きていくこと」

すなわち **キャリア教育**とは = 「**生き方教育**」

人は他者や社会とのかかわりの中で生きています。すべての人がいろいろな社会に所属して**役割**を果たしています。(EX 職業人、家庭の一員、地域社会の一員など)

学校における子供たちは・・・**学ぶ**活動を通して役割を果たしています。

- ① 活動を知り
- ② 働きかけている他者に気付き
- ③ 活動している場(社会=この場合は学校・活動)を受けとめる
- ↓
- ④ 快適な状態(安心感、幸福感、充実感)を味わう
- ↓
- ⑤ 次の活動へ

この①～⑤の繰り返しとその過程が

キャリア発達

では、新キャリア教育リーフレットを見てみましょう。

新キャリア教育リーフレットの特徴

- ① 類型別になっている
- ② 生活年齢(学部・学年)の歩みが一目で分かる
- ③ どの類型も8項目に分かれている
- ④ 項目ごとに具体例が載っている
- ⑤ 家庭や学校、地域の生活に反映しやすい

以上5つの特徴をおさえたうえで、再度目を通してみてください。自分のお子さんの今が見えてきたことと思います。

- ・「今、できていることやもっと高めることができるのではないかとと思われること」
- ・「今、楽しめていることやもっと楽しめるのではないかとと思われること」
- ・「ちょっと苦手だけど頑張れるのではないかとと思われること」
- ・「まだ挑戦していないけれど、もしかしたらできるかも(楽しめるかも)しれないこと」
等々

上記以外にもいろいろ浮かんできたことと思います。**進路とは進む方向(道=路)**です。進路先を決める(進路先が決まる)ことはもちろん大切です。しかし、そのためには、まず「**どんな生活をしたいか(してほしいか)**。」「自分にとって(子どもにとって)**豊かな生活ってどんなことか**。」ということイメージして見る必要があります。そして、そうした生活や生き方を実現するために家庭生活・学校生活・地域社会で支援していくことがキャリア教育の基本と考えます。

夏休みにできることを・・・

夏休みは家庭や地域での生活が主体となります。イメージしたこれからの生活や生き方に近い**事業所をインターネットで検索**したり、**見学**したり、また実際に通われている**先輩保護者に話を聞いてみる**のもいいかもしれません。同級生の**保護者同士で情報交換**することも良いですね。それでもまだ不安があるかと思います。そんなときは相談支援事業所の方に話を聞いてもらったり、2学期に学校に相談したりしてください。



★高等部 産業現場等における実習と進路学習

高等部では、1年生で1回（11月）、2年生で2回（6月、11月）、3年生で1回（6月）に産業現場等における実習を行います。

6月は、2年生と3年生が校外の事業所で5日間（実習先によって日数が変わる場合があります）の実習を、1年生は校内で進路学習と校内実習を行いました。産業現場等における実習は、進路指導の中核をなす学習であり、実習前後の学習との関連が大きな意味をもちます。

＜実習前後の学習の様子＞

学習内容	取り組みの様子
<p>実習ガイダンス</p>	<p>実習の目的、予定、実習先の確認 実習の目標を決める。 実習日誌の作成 実習先打合せ当日の動き、進め方を確認</p> 
<p>実習先打合せ</p>	<p>生徒本人と保護者、担任が実習先を訪問 「時間」「持ち物」「活動内容」などについて打合わせました。</p>
<p>プレ実習 （3日間）</p>	<p>実習先に応じたグループで、実習を想定した活動に取り組みました。 Aグループ：作業中心 Bグループ：作業、制作、レクリエーション Cグループ：制作、レクリエーション</p> 
<p>実習出発式</p>	<p>「〇〇で実習します。目標は、自分から挨拶をすることと、分からないことは自分から聞くことです。」などと、実習の目標を決めて発表し合いました。実習の目標を自覚し、気持ちを高めました。</p> 
<p>産業現場等における実習 （1～5日間） 1年生：校内実習</p>	<p>いよいよ実習本番。リモート実習の事業所もありました。普段と違う環境の生活ですが、それぞれの夢に向かってチャレンジしました。 実習最終日は、生徒本人、保護者、担任と実習先の担当者の方で、反省会を行います。実習先から、実習の評価や今後のアドバイスをいただきました。</p> 
<p>実習報告会</p>	<p>実習を振り返り、実習先、実習内容、実習を通して学んだこと、目標に対する成果と課題を整理して発表しました。「働く上で大事だと思ったことは何ですか」という質問に、「挨拶が大事だと感じました。」などといった質疑応答も行われました。保護者や中学部の生徒（一部）の参加もありました。</p> 